

令和3（2021）年度総合型選抜について、新型コロナウイルス感染状況から、予定されていた「講義に関する課題レポート」を、事前の「課題レポート」へ変更し、2分野から各1題を出題しました。各課題のタイトルおよび出題意図は以下の通りです。

1.『遺伝子組換え作物と遺伝子組換え食品』

現在、遺伝子組換え技術による有用作物の作出や、その商業的栽培、遺伝子組換え作物からの食品生産が行われている。課題レポートでは、遺伝子組換え作物や遺伝子組換え食品のメリットおよびデメリットや、世界および日本におけるそれらの栽培・利用の現状についてまとめさせた。加えて、今後も遺伝子組換え作物および遺伝子組換え食品の利用が続くことを想定して、人体への影響、環境への影響、農作物の自給・輸入等の点から、改善すべき点を理由を含めて問うた。これらにより、調査・分析力、検証力、論理的思考力、論述力等を評価した。

2.『社会における株式会社の意義』

本課題は、「社会における株式会社の意義」と題して、現代の株式会社の理念、日本における株式会社の現状、そして、これからの株式会社に重要なCSRに関するものであった。課題レポートでは、現代の株式会社を理解するための基本的な理念である「所有と経営の分離」と「CSR」に関する資料を読み、各自の考える株式会社のあるべき姿を、3つのキーワードを用いて記述することを求めた。評価に際しては、第一に資料に書かれていることを正確に読み取れているか、第二に論旨が明確・論理的であるか、それを文章で適切に表現できているかという点を重視した。